

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 枚方市総合交通計画推進協議会
開 催 日 時	令和5年2月28日（火） 10時00分から12時10分まで
開 催 場 所	枚方市役所第3分館 3階 第3会議室
出 席 者	会長：土井勉委員 副会長：猪井委員 委員：北川委員、松本委員、定藤委員、三田委員、谷川委員、加藤委員、中西委員、酒井委員、土井一正委員、仲村委員、長尾祥司委員、浜田委員、北西委員、迫間委員 関係者：大阪府枚方土木事務所 山本課長補佐(清水委員関係者)
欠 席 者	清水委員、裏川委員、長尾哲覚委員、大塚委員、青野委員、木島委員
案 件 名	1. 開 会 2. 案 件 （1）枚方市総合交通計画の見直しについて 3. 報 告 （1）施策パッケージおよび施策評価の進捗について 4. その他 5. 閉 会
提出された資料等の 名 称	次第 資料1 枚方市総合交通計画の見直しについて 参考資料1-1 国土交通省近畿地方整備局資料 参考資料1-2 京阪電鉄資料 参考資料1-3 京阪バス資料 参考資料1-4 大阪タクシー協会資料 参考資料2-1 施策パッケージおよび施策評価の進捗について 参考資料2-2 施策パッケージの実施事例について 参考資料3 今後の協議会の予定について 参考資料4 枚方市総合交通計画推進協議会委員名簿
決 定 事 項	2（1）枚方市総合交通計画の見直しを進めていくことで決定した。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議の公表、非公表の別 及び非公表の理由	公表

傍 聴 者 の 数	0 人
所 管 部 署 (事 務 局)	枚方市 土木部 土木政策課

審 議 内 容

事務局	<p>【開 会】</p> <p>本日の出席委員は 22 名のうち 16 名で、枚方市附属機関条例に基づき本協議会が成立していることをご報告申し上げます。</p>
会長	<p>枚方市総合交通計画は皆が外出しやすいまちをつくることを一番の目的としている。日常生活の中で交通の手段が欠けると例えば送迎していただかないと気軽に外出することができなくなる。買い物や友達と会うなど出かけることは人間にとって非常に大切なことであり、今回のコロナ禍で痛感したと思う。</p> <p>本計画に基づき、交通という資源を市民へうまく配分することで外出しやすいまちをつくっていききたい。皆様から活発なご意見を頂きたいと思う。</p>
	<p>【案件1 枚方市総合交通計画の見直しについて】</p> <p>(主な意見)</p>
会長	<p>事務局の説明の中でのポイントは、「枚方市総合交通計画」を地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく、「地域公共交通計画」に変える。それにより、公共交通に関する国からの補助を受けることが可能となる。更に大事なことは、本協議会が任意の協議会から法に基づく法定協議会となり一定の権限をもつこととなる。</p>
委員	<p>資料1における今後の予定より、「地域公共交通計画」から「都市・地域総合交通戦略」に変わるという認識でよいか。資料1の最終ページに書かれている都市・地域総合交通戦略と地域公共交通計画の図の説明をしてほしい。</p>
事務局	<p>現状の枚方市総合交通計画は「都市・地域総合交通戦略要綱」に基づき道路・交通事業やまちづくりに主眼を置いている。先ほど会長から地域公共交通計画に移行するという話であったが、現計画の位置づけを残しつつ、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく位置づけを付与するという考えである。地域公共交通計画は運輸系の計画であるため、公共交通に特化したものであり、現計画は公共交通以外の道路なども対象となっている。</p>
委員	<p>現計画に対し、福祉タクシーやスクールバス、自家用有償運送などの要素も追加されるということか。</p>
事務局	<p>現計画でも、福祉移送サービス等の公共交通以外の枚方市の様々な施策とも連携しながら取り組んでおり、実績もあるが、今回新たに地域公共交通計画の位置づけを与える。</p>
会長	<p>一つの計画の中に2つの要素が入るということで承知した。今回、枚方市総合交</p>

	<p>通計画の道路部分や自転車道の整備なども見直しの対象となるということである。</p>
委員	<p>市民に対する啓発はどのように考えているか。市民アンケートを予定しているとのことだが、専門的な知識がないとアンケートに対する回答も難しいのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘頂いたとおり、各地域のニーズをどう把握するかが課題だと認識している。計画を策定する際の市の行政手続きであるパブリックコメントは行うが、それだけでは不十分だと認識している。そのため、市民アンケートなどを活用したニーズの把握方法について本協議会の中で議論していきたい。</p>
委員	<p>パブリックコメントを実施するまでの間に非常に手間がかかる。地域ごとに課題は異なるため、タウンミーティングなどを地域ごとに実施していく中で意見を集約し、それを市民アンケートに反映させるなど、丁寧な議論が必要。計画策定後に意見を求められても専門的な知識がないと答えられない。計画を策定するまでに市民の意見をどう集約するかが重要である。</p>
委員	<p>通院される方のリアルな意見をお伝えしたい。家の近くにバス停がなく、タクシーを利用せざるを得ないが、タクシー代がかかる。福祉輸送タクシーを利用するには一定の要件が求められる。そういった方々のことも考えて、今後の計画の中で検討してほしい。</p>
委員	<p>枚方市として、枚方市駅再開発や淀川渡河橋、新名神などの交通戦略の立場に基づいた長期的な取組もあり、その一方で、公共交通を維持などの喫緊に取り組むべき短期的な課題もある。</p> <p>長期的な視点と短期的な視点をしっかり分けて、二段構えで議論して取り組んでいくべきである。</p>
委員	<p>今後のスケジュールを見ると非常に期間が短く論点をしっかりと整理して進めていくべきと考える。まず地域の意見を聞き、ここに大きな課題があるのではないかと把握してからアンケートを作るなど、最初に全体をみようとするアンケートを取ろうとすると、何のためのアンケートなのか、市民の方も自分事として回答しづらいアンケートになる。最初の方向性についてしっかり検討すべきである。簡単なことだが、封筒の色や文字の大きさなどすべての物がコミュニケーションのツール、何かアンケートが終わったあと公共交通を利用したいと思わせる仕組みづくりをぜひ検討してほしい。</p>
委員	<p>これからの5年先は、長尾杉線など整備され、高齢者などにとって便利になる。コミュニティーでは、枚方市の内側に比べ外側は不便との意見がある。これから枚方市駅前の再開発により、内側はますます便利になる一方、尊延寺などは不便</p>

	<p>である、将来全ての地域を公共交通の利用しやすい環境とするのは困難であると思う。</p>
委員	<p>市民アンケートの内容についてどういった内容となるのか。</p>
事務局	<p>外出の意識調査や、各地域年代別におけるニーズを把握する。内容については今後の協議会の中で相談させてほしい。</p>
委員	<p>市民アンケートで地域のニーズの把握をすることはよいこと。2020年までは乗降客数が減っているが、その後回復している部分もあるため最新の情報を市民に提供して頂きたい。また地域毎のニーズもあるが、既存の道路において交通渋滞のネックになっている部分が市内に存在している。バスの利用者にも迷惑がかかっているし、バスに乗っても定刻に着かないことがバス利用者数減少にもつながる。例えば、招提口交差点や田ノ口団地や国道307号などは常時混んでいる。都市計画道路の整備も必要だが、交差点の改良なども進める必要があるのではないかと考える。そういったところをアンケートでも吸い上げていただきたい。</p>
委員	<p>想定されている交付金メニューについて、交付金が使えないものをアンケートで吸い上げて対応が困難となるので、実現可能な対応ができるようアンケート設問を考えるべきである。また、市内の交通渋滞を改善していく必要があるが、例えば高速道路に流せるようスマートインターの設置などについても検討してほしい。</p>
委員	<p>市民意見を把握するために、地域の懇談会などを開いてみてはどうか。枚方市が現在市駅再開発を行っているように、大きな街づくりが動いているときに、どのように交通が絡んでいくのか視野に入れながら検討すべき。また、社会情勢の変化について、免許返納などがあるが、バスの便が減ることやバス停までの移動が困難などの理由から免許返納ができない高齢者などもある。交通不便地域という言葉があるが、そうした地域に位置する方々のニーズを把握する項目がない。先日、寝屋川市や高槻市に確認したところ、高槻市は地域のニーズに応じたバスを走らせている。寝屋川市はデマンドタクシーの整備などを始めていると確認した。今困っている、今後困ってくる人達のニーズを把握する項目を検討すべき。</p>
事務局	<p>多種多様なご意見を頂きありがたい。この場でも様々な意見が出ているとおりに今後予定している市民アンケートについては工夫していく必要がある。市民の外出意識という観点をしっかり捉えた中で今後の公共交通をどのように展開させていくのか、総合交通計画の中に入れていく必要がある。また、委員のご意見にあった公共交通の定時制の確保が枚方市の魅力向上にもつながりそこにいきつくまでには意見調査などを図っていく必要がある。ハード及びソフトの充実について委員の意見を頂きながら、計画策定に取り組んでいきたい。</p>

委員	<p>今回の協議会までに事務局としてこういう方向で進めたいという一定の方向性を示していただけか。</p>
事務局	<p>本協議会の中で合意形成を図りながらアンケートを実施するのか、あるいは協議会という形ではなく委員にご意見頂きながらアンケートを実施していくかについては会長及び副会長とも相談しながら進めていきたい。</p>
会長	<p>アンケートは手段であり、住民の皆さんから何を聞くかが大切である。その手法としてアンケートが良いのかそれとも別の手段が良いのか考える必要がある。アンケートの話だけでなく、この計画はどのような方向性を目指し、どのような方を対象にどのような意見を聞きたいかを整理する必要がある。今後、方向性については十分ご検討いただいて、例えば分科会を設けるなど進め方を検討頂きたい。また、副会長からも意見があったが、長期的に進めるものと短期的に進めるものをつかりと整理してお示し頂きたい。</p>
委員	<p>枚方市内 45 小学校区、統一的な内容を実施しても回答に悩む可能性があり、一般的に統一したアンケートは難しいと思う。</p>
委員	<p>タウンミーティングなど地域の声を丁寧に聞けるようないろんな手法を考えてほしい。</p>
会長	<p>本日の内容を踏まえ、計画の見直しを進めていくことでよろしいか。</p>
<p>[委 員 賛 同]</p>	
会長	<p>それでは次に各委員の皆様方から、最近の動向や計画見直しにあたっての求められる視点、意見等、また、公共交通事業者の皆様からは最近の利用状況等について、ご発言いただきたいと思います。</p>
委員	<p>京阪電鉄の状況を参考資料 1-2 のとおりまとめている。資料 1 ページ目に定期及び定期外の月ごとの利用者数を示しているが、定期外の利用客の戻りが悪いことがわかる。また、定期の直近 12 月について△4.3 となっている。しかし、2019 年 12 月に消費税の運賃改定が行われた影響により数値が戻っているように見えるだけで、実際は△11%程度となっている。P2 に近年の運輸成績を示しているが、利用客が少しずつ戻ってきているものの、コロナ禍前と比較してマイナス 17%の収入となる見込みであり、厳しい状況が続いている。</p> <p>また、4 月から国が創設したバリアフリー料金制度を適用する。定期外で概ね 10 円程度、定期で概ね 1 ヶ月 370 円程度のバリアフリーを促進するための値上げを予定している。</p>

委員	<p>京阪バスの状況を参考資料 1-3 のとおりまとめている。P1 のとおりコロナ前と比較し、少しずつ利用客は戻ってきているが、2021 年度は旅客数が△20.7 減となるなど非常に厳しい状況である。P2 にもあるがコロナ前にも少子高齢化等の観点から進めさせて頂いていたが、バスの廃止や減便をせざるを得ない状況。また、乗務員の高齢化や不足もバスの廃止や減便につながっている。乗務員不足の課題については、P3 に示しているように説明会などを実施することで積極的な採用に取り組んでいる。大型二種免許をもっていない人でも取得費用を会社で補助するなど乗務員獲得の取り組みを進めている。また、労働環境改善として 2024 年 4 月からバス運転者の改善基準告示改正がなされる。京阪バスにおいても本基準を基に勤務基準改正を行うため、一人当たりの労働時間が減る分、路線・本数の維持がより厳しい状況である。</p>
委員	<p>大阪府下の法人タクシーの状況を参考資料 1-4 のとおりまとめている。タクシーの乗務員数については、2018 年と 2022 年の 12 月末の乗務員数を比較すると、16%減少している。タクシー事業者は人員の増強に尽力しているが、2022 年に道路交通法が改正され、第二種運転免許の受験要件が緩和されたことで、若手のタクシー乗務員の活躍が期待される場所である。門真市などでは今年の 4 月から交通不便地域などで乗合いタクシーを実施すると聞いている。協会としても積極的に協力したい考えである。</p>
委員	<p>各事業者から報告があったとおり、利用者の減少や乗務員の減少など各社非常に厳しい状況である。今回、枚方市の計画の見直しに伴う地域公共交通を考えていく取り組みは大変素晴らしいことだと考えている。大阪運輸支局としても支援していく。</p>
委員	<p>枚方市内の JR 3 駅（長尾、藤阪、津田駅）について、2021 年度と 2015 年度の乗車人員を比較すると、概ね約 18%減という状況である。また、経営状況であるが、2020 年度、2021 年度は赤字を計上している。2022 年度は何とか黒字となりそうだが、税制優遇などの措置によるところが大きい。利用は完全に元には戻らないと考えているが、コロナ前の 9 割程度には戻したいと考えている。</p> <p>また、JR においても国が創設したバリアフリー料金制度を適用し、普通運賃で一律 10 円の値上げをさせて頂く。頂いた運賃で市内 3 駅にはホーム安全スクリーンを整備していくのでご理解賜りたい。</p>
会長	<p>京阪バスの乗務員の積極採用として、2 月 22 日の出張説明会の結果についてぜひ委員に共有頂きたい。</p>
委員	<p>発達障害の方など当事者の方の理解促進を図るための啓発ポスター等の掲示のご協力をお願いしたい。4 月 2 日は世界自閉症啓発デーとなるが、例えば駅舎でのイベントなどをご相談させて頂きたい。</p>

事務局	<p>【報告 施策パッケージおよび施策評価の進捗について】</p> <p>今後、施策内容の達成状況や評価指標の評価については、来年度の見直しの中で、5年経過時点での評価を行い、成果として取りまとめていく予定ですので、よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>枚方市駅南口タクシー乗り場についてスロープを設置したとのことだが、従来の動線と逆の動線となっている。また以前のタクシー乗り場部も塞いでいないため、塞ぐか並び方の動線を明示頂きたい。また、枚方市駅前線のエスカレーター周辺は夜になると真っ暗になる。街灯などをつけて頂きたい。</p> <p>【今後の予定について】</p>
会長	<p>本日の協議会の内容を踏まえ、本日の会議録と合わせ共有頂きたい</p>
委員	<p>本日の会議を踏まえ、市民の方々、事業者の方々が本当に枚方市のことを考え活発な意見交換ができたと認識している。事務局にお願いだが、今回のように最後駆け足となり、委員の意見交換が不十分にならないよう配慮してほしい。</p>
会長	<p>より良い枚方の交通のあり方を実現していきたいと思うので、ぜひともご協力のほどよろしくお願いたします。</p>
<p style="text-align: center;">～協議会後の確認事項について～</p> <p><u>京阪バスの乗務員の積極採用として、2月22日の出張説明会の結果について</u> 今回の出席者は3名でした。</p>	